

様式第二十五号（第三十三条関係）

```
< HTML >
< HEAD > < TITLE > 宅地建物取引業法（又は宅地建物取引業法施行
規則） </TITLE > < /HEAD >
< BODY > < PRE >
【適用条文】 宅地建物取引業法第      条第      項
【様式番号】
【書類名】
【記載事項】
</PRE > </BODY > </HTML >
```

備考 1 1行は36字詰めとする。

2 文字は、日本工業規格 X0208 で定められている図形文字並びに X0211 で定められている制御文字のうち「復帰」及び「改行」を用いることとし、図は用いてはならない。

ただし、「【】」（日本工業規格 X0208 区点番号（以下「区点番号」という。）1－58）、「【】」（区点番号1－59）、「▲」（区点番号2－5）及び「▼」（区点番号2－7）は用いてはならない（欄名の前後に「【】」（区点番号1－58）及び「【】」（区点番号1－59）を、又は置き換えた文字の前後に「▲」（区点番号2－5）及び「▼」（区点番号2－7）を用いるときを除く。）。

日本工業規格 X0208 で定められている文字以外の文字を用いようとするときは、日本工業規格 X0208 で定められている漢字に置き換えて記録し、又はその読みを平仮名で記録し、それらの前に「▲」（区点番号2－5）、後ろに「▼」（区点番号2－7）を付す。

3 「<」、「>」又は「<」及び「>」によつて囲まれた欄名は、日本工業規格 X0201 で定められている文字を用いる。

4 「【適用条文】」の欄には、行おうとする申請及び届出の適用条文名を記録する。

5 「【様式番号】」の欄には、日本工業規格 X0201 で定められている文字を用いて、当該申請書及び届出書の様式の番号を三桁の数字で記録する。

6 「【記載事項】」の欄には、当該申請書及び届出書に記載すべきこととされている事項（様式に規定されている事項の名称を含む。）を記録する。

7 文字の符号化表現は、日本工業規格 X0208 附属書1で定められている方式を用いる。

8 該当事項がない欄は、省略する。